



2026年1月26日

各 位

会社名 東京電力ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 小早川 智明
(コード番号 9501 東証プライム市場)
問合せ先 経理室決算統括グループマネージャー 林 正範
(TEL 03-6373-1111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年3月期通期連結業績予想につきまして下記によりお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する当期純損益	1株当たり当期純損益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円銭 —
今回修正予想 (B)	6,462,000	228,000	277,000	△641,000	△400.11
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2025年3月期)	6,810,391	234,452	254,443	161,278	100.67

2. 修正の理由

2026年3月期通期の連結業績予想につきまして、原子力損害賠償・廃炉等支援機構法第46条第1項及び第2項の規定に基づき、1月9日に変更の認定申請を行った第五次総合特別事業計画について、本日、主務大臣より認定を受けたことなどから、同計画の2026年3月期収支計画に、子会社等の金額を加えた計画値を通期の見通しとしてお示しすることといたしました。

業績予想の修正内容などについては、別紙をご覧ください。

以上

<別紙>

【2026年3月期の通期連結業績予想】

売上高は、販売電力量が減少したことなどにより、3,480億円減収の6兆4,620億円程度となる見通しです。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、230億円増益の2,770億円程度の利益となる見通しです。

また、東北地方太平洋沖地震により被災した資産の復旧等に要する費用または損失について、災害特別損失※を計上することなどにより、親会社株主に帰属する当期純損益は、8,020億円減益の6,410億円程度の損失となる見通しです。

※ 災害特別損失の詳細につきましては、2025年7月31日に開示しております「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：億円)

	2025年度 (予想)	2024年度 (実績)	増減
売上高	64,620	68,103	△ 3,480
営業損益	2,280	2,344	△ 60
経常損益	2,770	2,544	+ 230
特別損益	△ 9,020	△ 557	△ 8,460
親会社株主に帰属する当期純損益	△ 6,410	1,612	△ 8,020

※ 特別負担金500億円を仮置きしております。

【収支諸元】

	2026年3月期 (予想)	2025年3月期 (実績)
販売電力量(億kWh)	2,165	2,286
エリア需要(億kWh)	2,678	2,675
為替レート(円/ドル)	148程度	152.6
原油価格(ドル/バレル)	73程度	82.4
出水率(%)	98程度	98.1
原子力設備利用率(%)	2程度*	-

※ 柏崎刈羽原子力発電所6号機の運転計画を織り込み算定しております。

【影響額】

	2026年3月期 (予想)	2025年3月期 (実績)
原子力設備利用率 1 %	80億円程度	-
支払利息：金利 1 % (長・短)	160億円程度	170億円程度